

江別の顔づくり事業 基盤整備が完了します！

【詳細】開発指導課 ☎ 381-1086

市では、平成18年度から野幌周辺地区で『江別の顔づくり事業』を進めてきました。

今年度、北海道が進めている8丁目通をもって、全ての基盤整備が完了しますので、これまでの整備実績などを紹介します。（詳細は下のQRコードをご覧ください）

なお、今後も、交通安全対策や未利用地の活用、商業などの活性化の取り組みを継続し、賑わいあるまちづくりにつなげていきます。



1 整備前の6・8丁目通の踏切では、常に渋滞が見られた。

2 鉄道高架後は、目立った渋滞は見られていない。

事業概要

目的

- ①南北市街地の一体化によるコンパクトな市街地形成
 - ②都市機能充実による中心市街地活性化テーマ
- 市民みんなが行けるにぎわいと魅力ある市民交流拠点づくり

事業名

- 江別の顔づくり事業
- (1) 連続立体交差事業（北海道施行）
- (2) 土地区画整理事業（市施行）
- (3) 街路事業（市・北海道施行）
- (4) その他事業（市施行）

関連道路整備
野幌中央緑地整備
市民交流施設
商業等活性化事業

南北市街地の一体化

～往來を便利に～

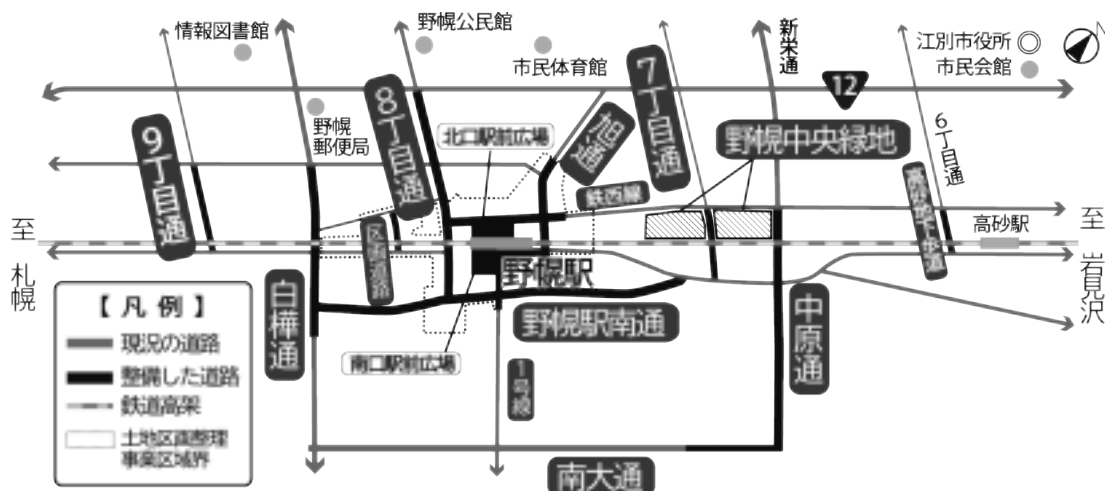
▼鉄道高架化で渋滞が解消

6丁目通では、1日に7千5百台の自動車通行があるなか6・2時間、8丁目通では、1日に8千2百台の自動車通行があるなか6・4時間の踏切遮断時間があり、渋滞が発生していましたが、踏切除却により渋滞が解消されました。

▼鉄道横断道路を5か所増加

中原通・7丁目通・旭通・区画道路・9丁目通に、鉄道横断道路を新規整備しました。その結果、南北市街地へ行き来する時間が短縮され、生活利便施設へ行き来しやすくなり、南北横断交通量が、自動車で約24%、歩行者で約42%増加しました。

<整備位置図>





6 「EBRI」では、市の特産品を扱うアンテナショップがあり、市に関連したイベントも開催されるなど、市民が集まれる場になっている。
 7 「ホテル・リボン野幌」には、65の客室とレストランがある。
 8 「ぶらっと」は市民団体の活動の場となっている。



3 「野幌駅北口駅前広場」は、バス停の集約、一般車やタクシーの乗降場、バリアフリー化などの整備が行われた。
 4 駐輪場は、野幌駅周辺の高架下などに設置。
 5 野幌中央緑地の「集いの広場ゾーン」は、多様な野外活動が可能となっている。

野幌駅付近の整備

～安全で快適に～

▼北口・南口駅前広場の整備

電車とバスなどの乗り換え、自家用車の送迎が安全で便利になりました。

▼幅の広い歩道の整備とバリアフリー化

安全で快適な歩行空間を確保しました。

▼電線類の地中化

都市災害の防止、景観や情報ネットワーク性能の向上を図りました。

▼駐輪場の整備

千八百台が駐輪可能となり、放置自転車が83%減少しました。

▼野幌中央緑地の整備

地場産のれんがと緑が調和し、江別らしい市民憩いの空間となりました。

都市機能の充実

～新たな人の流れを～

▼市民交流施設「ぶらっと」

令和元年12月のオープン後、月平均で2千人以上が利用しました。

▼宿泊施設「ホテル・リボン野幌」

令和元年12月のオープン後、約2万6千人が宿泊しました。

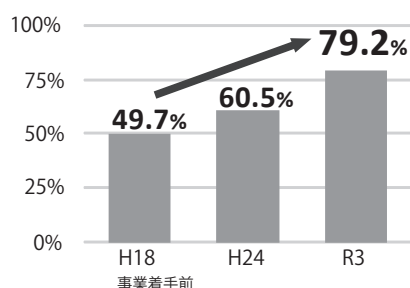
▼商業観光施設「EBRI」

平成28年3月のオープン後、5年間で約140万人が来場しました。

▼「八丁目プラザのつぼ」

平成28年12月に地域の交流拠点としてリニューアルオープン。利用者は年間1万人を超え、以前の倍以上になりました。

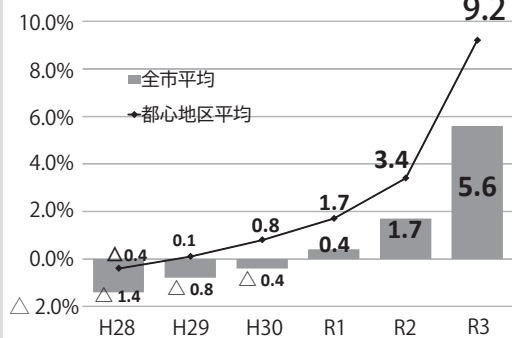
<市民満足度>



(まちづくり市民アンケート調査結果より)

また、利便性や快適性の向上により、野幌駅周辺地区の市民満足度が、大幅に上昇しました。

<地価の変動率>



(地価公示・北海道地価調査より)

○事業による波及効果

野幌駅を中心とした都心地区内の地価は平成29年から、全市平均の地価は令和元年から上昇しています。(野幌東町の対前年変動率は、全国9位の、+15.7%)